

声

業界の

● 山梨県石油協同組合

専務理事

菅原 五男氏

業界の現況は？

現在、中東産油国での国内情勢は緊迫しており、原油生産量の減少、さらにそれに伴う原油価格の高騰が起きています。中東の原油価格は日本の石油価格の指標となるため、原油価格の高騰は石油価格の高騰へと繋がっています。

それに加え、3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」の被害は当業界にも大きな打撃を与えました。東北地方の製油所においても被害が発生し、そのため出荷量が一時的に不足する事態となりました。ただ、それでもガソリン・灯油等の安定供給には支障がない状態なのですが、それら情報に過敏に反応した消費者が必要以上にガソリンを買い込んだため、ガソリンが売り切れとなるSSSが続出したしました。各SSSは災害対応のため、緊急車両等の優先給油を考慮し、消費者の方々には『不要不急』の給油を控えていただいています。今後については、引き続きガソリン・灯油等の安定供給を行っていききたいと思っています。

今後の展開は？

今後は、ハイブリット車やEV車の普及、原油価格の高騰に伴うガソリン・灯油等の値上げ等もあり、石油の需要減少が考えられます。また、各SSSでは消防法改正に伴う燃油タンクの改修費用も発生し、ますます経営を圧迫していくことが予想されます。

そのような状況の中、組合としては各SSSの経営安定を図るため、適正価格での石油の販売を推進していきたいと思っています。また身近にSSSが無い場所では、石油製品の安定供給が円滑に出来ない場合があるため、その対策としてSSS・行政・地域の密接な連携が必要とも感じます。

その他、

地域住民の安全・安心のための避難所として「災害対応型給油所」の設置を進めていきたいと思っています。



災害対応給油所